The current status of sepsis research in Japan and its international comparison

To the Editor: Toshiaki Iba^{*1}, Toshihiko Mayumi^{*2}

^{*1} Department of Emergency and Disaster Medicine, Juntendo University
(2-1-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8421, Japan)

^{*2} Department of Emergency and Intensive Care Medicine, Graduate School of Medicine, Nagoya University
(65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, Aichi 466-8550, Japan)

J Jpn Soc Intensive Care Med 2010;17:545~546.

レター

日集中医誌 2010;17:546~547.

症例の集積は敷衍的に

編集委員長殿

本誌17巻2号(2010年4月号)に掲載されたたこつぼ型心筋症に関する論文¹⁾は, refeeding syndromeに関連して発症したと思われること, 年齢が18歳と若いことが従来の報告と異なっており, 興味深く拝読しました。また, この論文に論評を加えた石原正治氏によるハイライト²⁾もよくまとまっていると思います。

しかし, 見逃してならないのは本誌12巻3号(2005年7月号)p. 213-7に, 「たこつぼ型心筋障害を呈した巨大声帯ポリープの1症例」として症例報告³⁾があり, 同時に17巻2号のハイライト執筆者と同じ施設の栗栖智氏が「たこつぼ型心筋障害: 救急集中治療医への啓発」⁴⁾としてハイライトを執筆されていることであります。ハイライトは, 前回に取り上げた時と比較して当該分野でどの程度進展をみているかを中心に論じることを, 執筆者に依頼すべきであると考えます。どの雑誌もいわゆるImpact Factorを上げるために, 自身の雑誌に掲載された関連論文は必要に応じて引用するように, 具体的に論文名をあげて著者に注意を喚起する程度のことは, Editorが行っております(本誌がたとえMEDLINEに収載されていないにしても)。

しかし, 今回の掲載論文では, 5年前の本誌に掲載された論文について一言も触れずに無視しております。編集委員会の見解をお伺いする次第です。

今井 孝祐

前 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救命救急医学教授

(〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45)

文 献

- 1) 松本充弘, 平尾 収, 木岡秀隆, 他. Refeeding syndromeにたこつぼ型心筋症を合併したanorexia nervosaの1例. 日集中医誌 2010;17:185-9.
- 2) 石原正治. たこつぼ心筋障害. 日集中医誌 2010;17:133-5.
- 3) 斉藤朗子, 依田建吾, 平田 学, 他. たこつぼ型心筋障害を呈した巨大声帯ポリープの1症例. 日集中医誌 2005;12:213-7.
- 4) 栗栖 智. たこつぼ型心筋障害: 救急集中治療医への啓発. 日集中医誌 2005;12:186-8.

受付日 2010年 4 月 23 日

採択日 2010年 5 月 2 日

今井孝祐先生（編集委員長回答）

日本集中治療医学会機関誌編集委員会へ貴重なご意見を賜りましたことを御礼申し上げます。ご意見の主旨は以下の二点と拝察し、ご回答申し上げます。

1) ハイライト執筆のあり方について

ハイライトは対象論文内容の主題を専門家に最新の知見に基づき平易に解説していただき、日本集中治療学会会員を啓蒙することを目的としております。さらに、当該論文を取り上げ、その内容に関して専門的かつ建設的に批評していただくことにより、論文著者を啓発することも目的の一つです。今回ご指摘賜りました類似主題論文のハイライトにおきましては、前回に取り上げた時と比較して当該分野でどのような進展が見られたのかについても論じていただくようお願いすることと致します。

2) 機関誌掲載論文の引用について

日本集中治療医学会雑誌はいまだ発展途上であり、解決すべき問題点が山積しております。今回ご指摘賜りました、機関誌掲載論文の可及的な引用に関して著者へ注意を喚起することもその一つと認識しております。昨年より機関誌はJ-STAGE（Japan Science Technology Information Aggregator, Electronic）を通じて保存・管理され、その閲覧が容易になりました。J-STAGEの応用により、今後はいただいたご意見に

関して、より注意深い対応が可能になるかと存じます。

今回のご意見を参考に、機関誌編集委員会一同、より良い機関誌編集に倍旧の努力をする所存でございます。今後とも機関誌編集委員会へのご指導・ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

丸藤 哲

日本集中治療医学会機関誌編集委員会委員長

〒113-0033 東京都文京区本郷3-32-6ハイブ本郷

Accumulation of valuable cases in a growing way

To the Editor: Takasuke Imai

Ex-professor, Department of Critical Care Medicine, Tokyo Medical and Dental University
(1-5-45 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8510, Japan)

In Reply:

Satoshi Gando

Editor-in-Chief, Journal of the Japanese Society of Intensive Care Medicine
(3-32-6 Haive Hongo, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan)

J Jpn Soc Intensive Care Med 2010;17:546~547.